

重要なお知らせ；ソフトウェアに起因する現象のご連絡

SW1A形 Automation Organizer WindLDR

SW1A形 Automation Organizer に収録の WindLDR において、以下 2 件の現象を確認いたしました。対象製品をご使用のお客様は以下に記載している内容をご確認の上、ご対策くださいますようお願いいたします。

現象一覧

No.	現象	現象修正バージョン	リリース日
1	ラダーに設定したラングコメントをアップロードできない場合がある	WindLDR Ver.8.12.0	2019年5月末
2	MOVC 命令の S1 に入力する文字列によっては以下のように正しく動作しません -文字列の先頭が“U”の場合、アップロード時にラダープログラムを復元できない -“M3”などのデバイスアドレスと同様の文字列フォーマットの場合、プロジェクトファイルを保存後に開きなおすと、“M0003”のように文字列が変更される	WindLDR Ver.8.12.0	2019年5月末

対策方法

Automation Organizer Ver.3.16.0 に同梱される以下のバージョンのソフトウェアで対応しております。

- WindLDR Ver.8.12.0

弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」より上記のバージョンまたはそれ以降のバージョンのインストーラ（「10_Automation Organizer アップデート版インストーラ」）をダウンロードし、インストールしてソフトウェアをアップグレードしてください。

<http://www.idec.com/jpja/ao/>

現象 1

【対象製品】

□WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.11.0

(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.15.1)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FC6A 形 MICROsmart

FC6A-C16*1*E、FC6A-C24*1*E、FC6A-C40*1*E、FC6A-C40*1*EJ、

FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE

【現象】

[複数ユーザーによるアクセス権限を Web サーバーに設定する]がチェックされていない状態(図 1 参照)で、App から PLC にアクセスするユーザーアカウントを登録(図 2 参照)したプロジェクト(図 3 参照)をダウンロードし、その後アップロードした場合、ラダーに設定したラングコメントがアップロードされません(図 4 参照)。

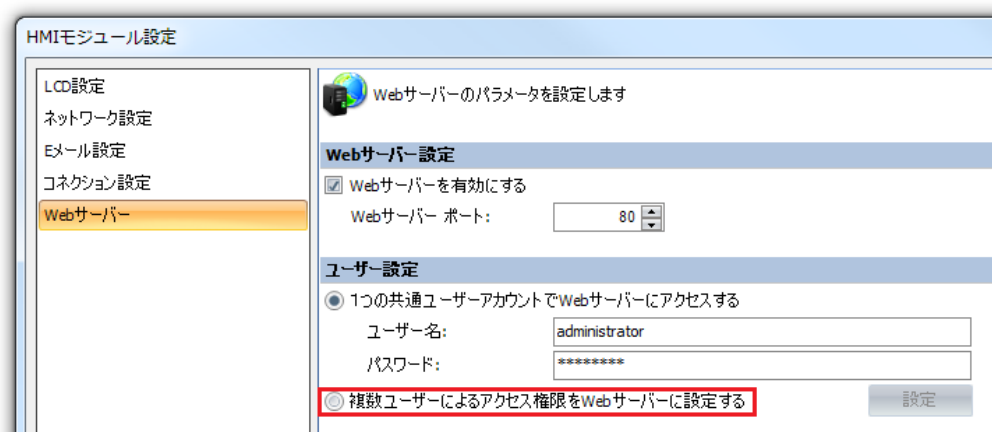


図 1 [複数ユーザーによるアクセス権限を Web サーバーに設定する] チェックボックス

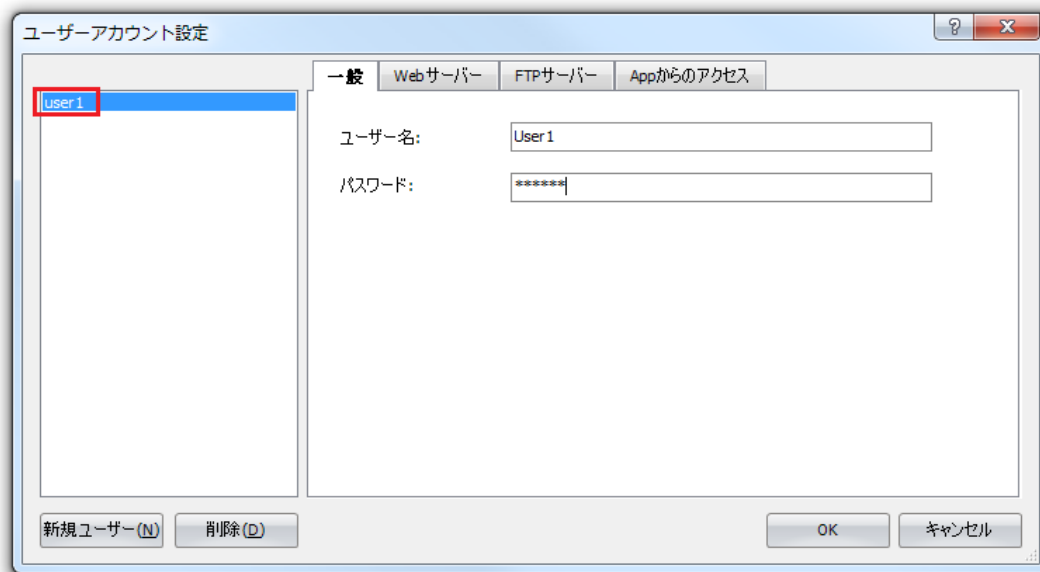


図 2 ユーザーアカウントの登録

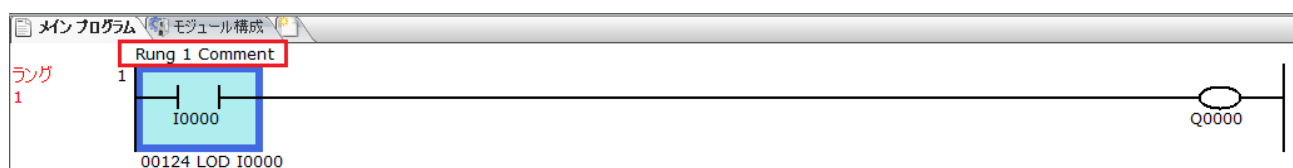


図 3 ダウンロードしたプログラム

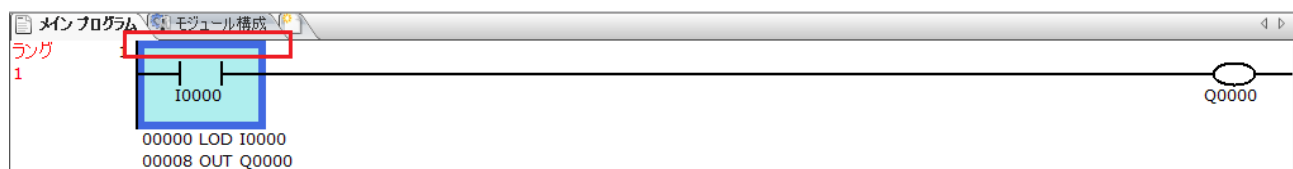


図 4 アップロードしたプログラム

【暫定的な回避方法】

回避方法はありません。「対策方法」に記載の恒久対策を実施してください。

現象 2

【対象製品】

□WindLDR Ver.8.6.1～Ver.8.11.0
(Automation Organizer Ver.3.90～Ver.3.15.1)

製品形番：SW1A-W1C

※弊社ホームページ「IDEC メンバサイト」からダウンロードしたソフトウェアも含まれます。

上記バージョンのソフトウェアを使用している場合、以下の機種で現象が発生します。

□FC6A 形 MICROSmart}

FC6A-C16*1*E、FC6A-C24*1*E、FC6A-C40*1*E、FC6A-C40*1*EJ、
FC6A-D16*1CEE、FC6A-D32*3CEE

【現象 A】

MOVC 命令の S1 に、大文字 U で始まる文字列を設定して以下のいずれかの操作を行うと、その後プロジェクトを復元できません。

- PLC にプロジェクトをダウンロード後、アップロードを行う。
- WindLDR でプログラム変換実施しプロジェクトファイルを保存後、そのファイルを開く。
- ZLD プロジェクトファイルを保存後、そのファイルを開く。

【現象 B】

MOVC 命令の S1 に、PLC のデバイスアドレス (m3、I10、Q41 など) を設定して以下のいずれかの操作を行うと、S1 の文字列が M0003、I0010、Q0041 などのデバイスアドレスのフォーマットに変更されます。

- PLC にプロジェクトをダウンロード後、アップロードを行う。
- WindLDR でプログラム変換実施しプロジェクトファイルを保存後、そのファイルを開く。
- ZLD プロジェクトファイルを保存後、そのファイルを開く。

<ダウンロード前のプログラム>

MOVC	S1	D1	N
	m3	D0000	3

<アップロードしたプログラム>

MOVC	S1	D1	N
	M0003	D0000	3

【暫定的な回避方法】

回避方法はありません。「対策方法」に記載の恒久対策を実施してください。